

農学部 留学案内

はじめに

持続可能な社会を実現する上で重要な役割を担う農学分野においては、気候変動への適応やその緩和策の模索、食料自給率の向上、食の安全・安心の確保など、解決すべき課題が山積みとなっています。また、新たな生物資源の探索や有効利用技術の開発による豊かで環境にやさしい社会の実現にも大きな期待が寄せられています。これらの農学分野における課題に取り組む上で、グローバルな視点と国際連携は不可欠です。

農学部では、20年以上の交流の歴史を有するASEAN諸国の大学と連携して、単なる海外体験・語学研修に留まらず、農学に関わる課題についての認識を深め、国際的なネットワークを広げることができる海外留学・交流プログラムを提供しています。1つは、タイのカセサート大学とのジョイント・ディグリープログラム(大学院生)、もう1つはASEAN諸国大学へのJASSO協定派遣(学部生、大学院生)です。さらには、学部生、大学院生が参加し研究交流を行う若手研究者セミナーも開催しています。

多くの学部生および大学院生が、これらのプログラムに積極的に参加し、将来、農学分野における課題解決を通じて、国際的な舞台上で活躍することを願っています。

農学部長 荊木 康臣

山口大学大学院創成科学研究科 山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻 (ジョイント・ディグリープログラム) (2020年4月1日開設)

タイのカセサート大学との国際連携農学生命科学専攻では、両大学における関連学問分野の特性を生かして、相互に補完・充実させた先端的かつ実践的な農学・生命科学分野の教育プログラムを構築し、地球規模の深刻な課題(地球温暖化、砂漠化、食料危機、食品廃棄物の増大、代替エネルギーの必要性等)の解決や食、エネルギー、医薬、環境等の分野での新規産業創出のために、熱帯性環境に棲息する微生物や植物を活用できる国際感覚をもった高度専門職業人を育成する教育を行います。

● カセサート大学(タイ)

カセサート大学はタイにおける最初の国立農業大学であり、研究大学として医学部以外を有する総合大学です。農学分野は、タイ国内でもっとも権威があり、インターナショナルコースが設置されています。また、理学分野はタイにおいて先導的存在であり国際的にも教育・研究において高い評価を受けています。

● ジョイント・ディグリープログラム

国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)とは、連携する大学間で開設された共同プログラムを修了した際に、連携する大学が連名で単一の学位を授与する仕組みです。本専攻では、通常と同じ2年間の大学院在学期間のうち約4ヶ月を連携大学(カセサート大学)で修学する国際通用性のある教育課程を提供します。

● 履修コース

● 農学コース Agricultural Science Course

本コースは、農学系専攻の農学コースをベースとし、カセサート大学の広大なフィールド等の施設・設備を利用した熱帯性環境生物資源の研究開発等について学び、農業や関連分野における諸問題の解決に活用できるグローバルマインドを身につけた人材を育成します。

● 生命科学コース Life Science Course

本コースは、農学系専攻の生命科学コースをベースとし、カセサート大学の豊富な研究資源・施設を利用した熱帯性環境生物資源の研究開発等について学び、食・環境・生命に関する諸問題の解決に寄与できるグローバルマインドを身につけた人材を育成します。

● 留学

山口大学を主とする学生は、1年次と2年次の8月から9月の2ヶ月間をカセサート大学で学修します。その間、集中講義の受講及びカセサート大学の教員からの研究指導を受けます。なお、留学にかかる費用の目安は、2ヶ月の滞在でおおよそ35万円です。

※内訳：留学ビザ取得費用約1万円、航空費約12万円、寮費約8万円、生活費約12万円、海外留学保険料約2万円



カセサート大学

● 履修スケジュール(学年歴)

	1年次					2年次								
	4月	5月~7月	8月	9月	10月~3月	4月~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
山口大学	修士論文に取り組む													
	山口大学入学	専門科目履修	カセサート大学滞在授業履修	専門科目履修	カセサート大学滞在授業履修	専門科目履修	両大学合同学位審査	山口大学修了						
共同開設科目					共同開設科目をカセサート大学で履修	共同開設科目を山口大学で履修								

※共同開設科目：「熱帯性環境生物資源の開発やその利用」のための基礎的かつ総論的内容の講義を両大学合同で開設します。

● 専攻学生の声

● 創成科学研究科 成松 星 さん

私は約2ヶ月間カセサート大学で研究活動や講義を経験しました。英語での発表に苦労しましたが、研究室の方々や先生方の助けで乗り越えることができました。また、論文作成に役立つツールや考え方、興味深い研究を学ぶことができ、充実した時間を過ごしました。タイの学生生活を堪能し、美味しい食べ物を教えてもらう中で、多くの友達にも恵まれました。来年の留学で再会できるのが楽しみです。



カセサート大学

農学部プログラム

「熱帯性環境生物資源国際ネットワークを活用したグローバル人材育成プログラム」

● プログラムの概要

タイ、ベトナム、インドネシアに派遣し、派遣先の大学の学生と共同して熱帯性環境生物資源に関するフィールドワークを含めた実習や基礎研究を実施します。また学生間の交流を深めるとともに、英語によるプレゼンテーション能力の向上や専門英語・英会話を含む英語能力の向上や異文化体験の機会を提供します。

なお、本プログラムは、独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO) の海外留学支援制度の採択を受けており、プログラムに参加する学生には月額9万円の奨学金をJASSOより支給しています。

● 主な派遣先大学

● タイ

カセサート大学
チュラロンコン大学
メージョー大学
コンケン大学
スラナリー工科大学
チェンマイ大学 他



● インドネシア

ボゴール農科大学
ガジャマダ大学
ブラウィジャヤ大学

● ベトナム

ベトナム国立農業大学
カントー大学

● 派遣学生の声

● 創成科学研究科 東根 麻衣 さん

私は夏季休業中に約1ヶ月間、インドネシアのボゴール農科大学に留学しました。熱帯農業に特化した圃場を訪れ、日本では見られない野菜や果物を味わうなど、貴重な体験をしました。また、インドネシアの文化に触れ、多様な価値観に驚きつつ、毎日が新鮮で刺激的でした。現地の友人達の温かいサポートに支えられ、初めての海外渡航も非常に楽しく有意義なものになり、挑戦してよかったと心から感じています。



若手研究者セミナー (Young Scientist Seminar)

本セミナーは、生物を中心とした研究テーマを持つ理学・工学・農学分野の学生が集まって、各自の研究について発表および討議する2日間で、2020年度以降はオンラインで開催しています。また、海外参加者が半数以上を占める150名規模のセミナーであり、博士・修士学生が中心となって運営を行うとともに各自の研究成果を英語で口頭発表し、幅広い研究の理解と海外の若手研究者とのネットワーク形成の場を提供しています。初日に海外から招聘された研究者の基調講演や招待講演があり、その後、6~8の分科会に分かれて各自の研究発表および討議を行い、分科会毎に優秀発表者を選出します。2日目に優秀発表者は全体会議で再度口頭発表し、その中から最優秀発表者が選ばれ表彰されます。

● 参加学生の声

● Alexander Robert Hamiltonさん

The YSS is a rewarding student-run opportunity to present projects and ideas with fellow junior academics from across a variety of countries. Last year I found the experience both rewarding and thoroughly enjoyable, receiving feedback on my presentation skills, and being awarded with Best Presenter for my efforts. I highly recommend this experience to any young academic looking to improve their skills and meet others from the global academic community.

お問い合わせ先：山口大学農学部学務係
〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1
TEL:083-933-5935 FAX:083-933-5812
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/agr/>